

王室の大墓地

君主制との緊密な関係

非常に通俗的であったサン・ドニ崇拜を受けて、このバジリカ聖堂は、早くから王権と運命を共にすることになります。聖堂は、フランス国王の特権的な墓地となり、いずれの王朝もその正統性を証明するために、この伝統を受け継ぎました。42人の王、32人の王妃、63人の王子および王女、10人の重要人物がこの地に眠っています。ナポレオン1世は、自らこの地を皇帝墓所に希望しました。この聖堂に埋葬された第一人者はダゴベルト王ですが、王族が一貫してこの地に埋葬されるようになるのは（いくつかの例外を除き）、ユーグ・カペー以降です。サン・ドニの修道士たちの筆から、公式のフランス史が誕生します。

卓越した葬送芸術

サン・ドニバジリカ聖堂には今日、70以上の横臥像と墓があり、ヨーロッパ唯一の規模となっています。この場所では、目を開いたデザインで彫られた12世紀の横臥像から、死と復活の精神を結びつけるルネッサンスの大作品まで、葬送芸術の進化を見ることができます。

用語集

祈りの像：葬送像で、祈祷者を表したもの
 横臥像：横たわった人物を表した葬送用の像
 大聖堂：司教区の主要教会、司教座
 オジーヴ：曲面天井を強化するためのアーチ
 セノタフ：遺骸不在の墓のための墓標
 大修道院：大修道院長（男女問わず）によって管理された僧院
 バジリカ式聖堂：4世紀以降、ローマ時代の民間建築をモデルに大理石製の柱と木製の天井で建築された教会を示した用語で、特に巡礼地となった教会に対して用いられた
 バラ窓：円形の大ステンドグラス

役に立つ情報

見学に要する平均時間：1時間15分
 ガイド付き見学、音声ガイド付き見学
 身体の不自由な方向への特別見学



車椅子の貸し出しあり

国立モニュメントセンターは、フランスのモニュメントに関するガイドシリーズを翻訳版で出版しています。文化・歴史遺産バージョンは書店ブティックにて販売しています。

Centre des monuments nationaux
 Basilique cathédrale de Saint-Denis
 1 rue de la Légion d'honneur
 93200 Saint-Denis
 tél. 01 48 09 83 54
 basilique-saint-denis@monuments-nationaux.fr

www.monuments-nationaux.fr

サン・ドニ
バジリカ大聖堂

フランス王の大墓地

王朝の大修道院

サン・ドニのバジリカ聖堂*は、ガロ・ロマン時代の墓地跡に建てられていて、サン・ドニ（聖デニス）の墓所があります。サン・ドニはパリ初の司教で、250年に殉教しています。この大聖堂は5世紀に建立され、巡礼地となりました。7世紀にはダゴベルトが聖堂の庇護者となり、754年にはピピン3世がこの聖堂で聖別されてフランク王国の国王となります。中世期には、最も権勢のあるベネディクト派大修道院*のひとつとなります。6世紀以来、大多数の王と王妃がここに埋葬されています。



ゴシック芸術の誕生

12世紀、強い政治的影響力を持ったサン・ドニ大修道院長のシュジェが、修道院を、後に初期ゴシック芸術とよばれる建築の傑作へと変えます。新技術として用いられたバラ窓*やリブポルト（オジーヴ*から成る曲面天井）などによって、建物内部が色彩あふれる光で満たされました。13世紀のサン・ルイ治下の工事によって現在の外観となりますが、多くの戦争やフランス革命によって修道院は衰退します。19世紀に有名なヴィオレ・ル・デュクによって修復され、1966年に大聖堂となりました。

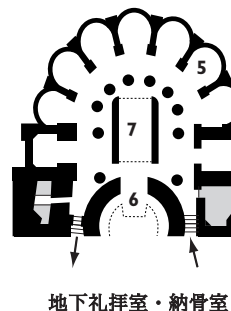
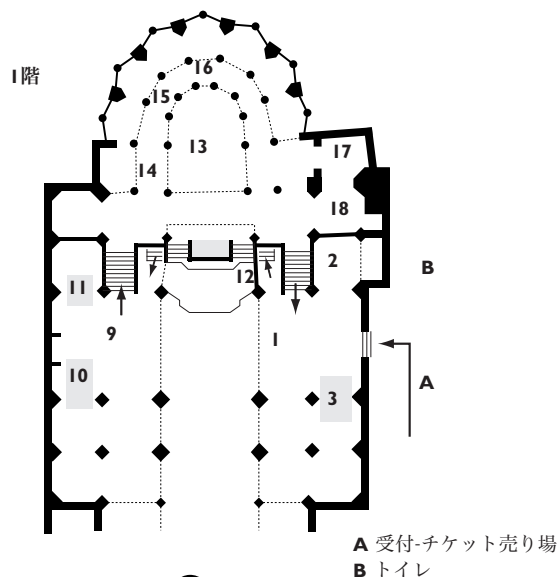
*裏面に解説あり

南翼廊

- 1 サン・ルイ（ルイ9世）の要望によって1263年頃、16の横臥像*がつくれます。現在そのうちの14体が残されています。王はこうして、カペー王朝、メロヴィング朝およびカロリング朝を継承するものとして示したのです。
- 2 ヴァロア王朝期の横臥像 シャルル5世賢明王の像はおそらく埋葬彫刻史上初の公式肖像であり、中世彫刻の傑作となっています。
- 3 フランソワ1世の墓 とクロード・ド・フランスおよび3人の子供のための墓碑は、1547年の王の死去から11年を経て設置されました。マリニャーノの戦いの勝利者が大きな凱旋門に表され、ルネッサンス期に古代文明が再考されたことを証言しています。

地下礼拝室・納骨室

- 4 ブルボン朝の礼拝堂 には、ブルボン王朝を称える19世紀製のセノタフ墓標*と、ルイ17世の心臓が収められています。
- 5 シュジェの納骨室 に残された多くの柱頭は、特に聖ベネディクトゥスの一生に捧げられています。周歩廊にある礼拝室のひとつには、580～590年ごろに死去し、サン・ドニ大聖堂に埋葬された最初の王后、クロタール王后アレゴンドの石棺があります。
- 6 考古学的納骨室 には最初の建築の遺跡が残されています。ここには殉教者の聖デニス(サン・ドニ)、ルスティック、エレウテロスの墓所があります。
- 7 ブルボン家の地下納骨所 には、ルイ18世がパリのマドレーヌ墓地から移させた、ルイ16世およびマリー・アントワネットの遺骸が祭られています。ルイ18世は、1824年にサン・ドニ大聖堂に埋葬された最後の王になります。
- 8 王の納骨室 には、革命時に王室墓所から掘り出され、ルイ18世によって集められた遺骨が祭られています。



北翼廊

- 9 上部のステンドグラス は、二つのバラ窓も含めて19世紀の作品で、フランス革命時に、再利用して利益を得るために溶かされた中世期のステンドグラスの代理品です。
- 10 ルイ12世とアンヌ・ド・ブルターニュ は、カララ大理石製の墓内では、裸でやせ細って横たわっていますが、その上部では命をもった祈祷像で表現されています。
- 11 アンリ2世とカトリーヌ・ド・メディシス のために1560～1573年に造られた記念碑的な墓で、イタ

リアの風習に影響された、素材の多色使いなどが特徴です。角部に配された、美德の寓意像などのジェルマン・ピロンによる彫刻は、優れた作品となっています。

- 12 ダゴベルト王の墓 は、639年に王が埋葬された場所である、聖ドニの聖遺物の右側に配置されています。

後陣

- 13 シュジェ大修道院長の後陣 は、1140～1144年に、聖殉教者の聖遺物箱を展示するために建てられた重要な作品で、上部は13世紀に修復されました。祭室間の壁がなく、大きなガラス張りを使用したことによって、切れ目のない光の壁が生み出されています。
- 14 メロヴィング朝の王と王妃 初代のキリスト教フランク国王クロヴィス、息子のヒルデベルト、フレデゴンドの横臥像は、19世紀にパリの教会から移されました。
- 15 2つの横臥像 は、金属製の墓の中でも今日まで保存されている珍しい例で、若くして亡くなったサン・ルイの二人の子供のものです。
- 16 シュジェ大修道院長のステンドグラス は、5つの大ステンドグラスの一部のみが現存しています。革命時には被害を免れたものの、後に重度の破損を受け、19世紀に再構築されました。

サン・ルイの礼拝堂

- 17 旗 は、戦時中に王軍が掲げた軍旗の複製です。
- 18 ルイ16世とマリー・アントワネットの祈りの像 は、2人の人物の遺骸が帰還した際にルイ18世によって注文され、1830年ごろに完成したものです。